

自分の思いや考えをもち表現することができる児童の育成

～対話的に学ぶことを通して～

本校では、児童の学力向上とともに、教師の授業力向上を目指し、授業研究に取り組んでいます。具体的には対話的に学ぶことを通して、自分の思いや考えをもち表現することができる児童の育成に向けて、研究を重ねています。

11月19日水曜日、5年2組の研究授業がありました。7月の夏休み前から何度も集まり、授業の進め方を検討してきました。授業の様子をお伝えします。

第5学年 国語 自分の立場や意図を明確にして話し合おう

『どちらを選びますか』 ～給食と弁当、学校のお昼に食べるならどちらがいいか～

児童は、上記の話題で給食派と弁当派に分かれて積極的に意見を話し合いました。弁当派は、「好きなものだけ食べられる。」「ふたを開ける時のワクワク感がある。」等、給食派は「親に負担をかけないですむ。」「家では出てこない珍しい料理が食べられる。」等、本当にたくさんの理由を見つけ、お互いの立場から自分の選んだ方にしかない良さをアピールしあいました。



授業後は、教員同士で今回の授業で参考になったところ、反省点、改善案などを話し合い、講師の先生にご指導をいただきました。授業研究で学んだことを日々の授業に生かしてまいります。



授業の振り返りでは、「友達の説得力のある理由を聞いていたら自分の立場が変わった。」という児童や、話し合いをしたら、「どちらにも良いところやデメリットがあると分かった。」等、二つの立場に分かれて話し合うことの良さに気付けた様子でした。

